

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/24		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587018901	科目番号 / Subject code	05870189
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12941_005		
授業科目名 / Subject	環境と社会の共生 (地域の環境を考える) / Community and Environment		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	深見 聡 / Fukami Satoshi, 濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, 黒田 暁 / Satoru Kuroda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	深見 聡 / Fukami Satoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	深見 聡 / Fukami Satoshi, 黒田 暁 / Satoru Kuroda		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	深見 : fukami nagasaki-u.ac.jp 黒田 : skuroda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してくだ さい)		
担当教員研究室/Laboratory	深見 : 環境科学部4階・環438教員室 黒田 : 環境科学部4階・環431教員室		
担当教員TEL/Tel	深見 : 095-819-2720 黒田 : 095-819-2732		
担当教員オフィスアワー/Office hours	深見 : 金曜日5時間目 黒田 : 木曜日2時間目		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>環境問題は、人間や自然の相互関係の複雑化にともない多様なものとなっています。それに対して、地域に共通する法則性や特殊性 (= 地域特性) に注目した、持続可能な地域づくりのあり方を希求することで、人間と自然の共生を図ろうという各種取り組みに注目が集まっています。それらのなかに、環境に配慮することの必要性を学ぶ「環境教育」や「環境自治」の充実があり、近年特に重要視されてきました。</p> <p>そこで本講義では、「環境教育」と「環境自治」をキーワードに掲げ、私たちの生活に身近な長崎における事例や時事問題として関心の高まっている地域の環境問題をピックアップし、その本質に迫ります。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>1. 地域の環境問題を考える上で、「環境教育」や「環境自治」が果たす役割について説明できる(??)。</p> <p>2. 「環境教育」や「環境自治」の分野における地域調査の方法にふれ、その基本を習得する(?)。</p> <p>3. 持続可能な地域づくりのあり方について、長崎県内の課題を整理して問題点とその解決策を発表できる(?)。</p>		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>新聞記事等の配布資料や、視聴覚機器 (パワーポイントやDVD) を用いながら進めていきます。また、レスポンス用紙の記入・提出や授業中の発表・報告をしてもらいながら、質疑応答の機会を多く準備し、講義の理解促進を図ります。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>・深見担当 地域の環境問題の解決につながる環境教育とはどのような形態のものなのか。具体的には、長崎での事例も取り上げながら発達段階に応じた環境教育の取り組みを紹介し、持続可能な地域づくりの理念と現実の乖離を埋めていく方途について、ともに考えていく。毎回、レスポンス用紙を記入してもらい、次回の講義内容にフィードバックする予定である。</p> <p>・黒田担当 環境と地域 (社会) の関係性を持続可能なものとするには、何が必要なのだろうか。どんな制度やしくみ、行動や考え方が求められているのか。「環境自治」というキーワードを手掛かりとして考えてみたい。具体的には、災害や地域コミュニティにまつわる有志の活動、地域資源管理問題といった各地の事例を取り上げながら、環境と地域をめぐる持続性のあり方について考えを深めていく。講義部分はレクチャー、事例検討、個別あるいはグループ作業の3つのパートから成り立っている。</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の予習復習課題として、事前に配布した講義資料や参考文献等に目を通しておきましょう。		
キーワード/Key word	地域の視点、持続可能な地域づくり、ESD (持続可能な開発のための教育)、災害対応、地域再生、地域コミュニティ、環境ガバナンス、環境自治のしくみ、長崎県		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>教科書 : 使用しない。 教材 : 適宜プリント等を配布する。 参考書 : 深見聡『地域コミュニティ再生とエコミュージアム?協働社会のまちづくり論』(青山社、2010年) 西城戸誠・宮内泰介・黒田暁編『震災と地域再生?石巻市北上町に生きる人びと』(法政大学出版局、2016年)</p>		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レスポンス用紙の記入状況50% (深見担当分) + 講義中に出される小課題への応答50% (黒田担当分) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		

受講要件（履修条件）/Requirements	
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	長崎などのローカルな事例に学ぶことを通して、自地域や他地域、ひいては国内外へとグローバルな課題へと関心喚起につながることを目指します。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回(9月29日)	I. オリエンテーション / 環境問題の多様化
第 2 回(9月29日)	II. 地域の環境と「環境教育」 環境教育の歴史?公害教育から国際理解教育へ?
第 3 回(10月6日)	学校教育における環境教育（1） 小学校におけるごみ分別授業の実践
第 4 回(10月6日)	学校教育における環境教育（2） 高校におけるEMS（環境マネジメントシステム）の実践
第 5 回(10月13日)	環境教育の深化（1） 持続可能な開発のための教育（ESD）とは
第 6 回(10月13日)	環境教育の深化（2） 「ESDのための10年」の取り組み -長崎県雲仙市の事例から-
第 7 回(10月20日)	環境教育と観光教育（1） 長崎県小値賀町におけるアイランドツーリズム
第 8 回(10月20日)	環境教育と観光教育（2） 世界遺産登録を目指す「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」
第 9 回(10月27日)	III. 地域の環境と「環境自治」 災害と地域復興の現場（1） 震災による地域の「被害」とは
第10回(10月27日)	災害と地域復興の現場（2） 災害社会を考える
第11回(11月10日)	環境と地域のコミュニティ（1） 「地域」というまとまり
第12回(11月10日)	環境と地域のコミュニティ（2） 自治はつらいよ?
第13回(11月17日)	環境ガバナンスのしくみ（1） 環境自治の実態と課題
第14回(11月17日)	環境ガバナンスのしくみ（2） 持続性のゆくえ
第15回(11月24日)	環境と地域の関係のあり方とは
第16回(11月24日)	まとめ

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587047301	科目番号 / Subject code	05870473
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12961_005		
授業科目名 / Subject	環境と社会の共生 (資源管理論) / Introduction to Resource Management		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, 重富 陽介 / Shigetomi Yosuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, 重富 陽介 / Shigetomi Yosuke		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	h-hamasaki nagasaki-u.ac.jp (濱崎) y-shigetomi nagasaki-u.ac.jp (重富) (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環449 (濱崎) 環440 (重富)		
担当教員TEL/Tel	内線 2742 (濱崎) 2785 (重富)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜14:00-17:00 (濱崎) 木曜10:00-17:00 (重富)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	土地資源、水資源、森林資源、水産資源、エネルギー資源等さまざまな資源を持つ特質を理解し、資源配分を決める経済的、政治的しくみと管理について実例を挙げながら概説する。		
授業到達目標/Goal	さまざまな資源を持つ特質を理解し、資源配分を決める経済的、政治的しくみについて学ぶ。資源管理の主体となる組織の役割や異なる利害の調整の方法について理解する。		
授業方法 (学習指導法) /Method	前半では実例を挙げながらグラフを使ったマイクロ経済学的アプローチにより講義する。後半では、グローバル化が進む国際社会の意思決定プロセスについて基礎的な講義を行うとともに、アクティブ・ラーニングの一環として、ロールプレイングやグループによるプレゼンテーションを取り入れる。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画欄を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回の授業で行うグループワークおよびグループ発表のための情報収集が課される。		
キーワード/Key word	グローバル社会, 資源管理, 意思決定, 持続可能な開発, エネルギー資源, 循環型社会		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特に教科書は指定せず, 教員作成の資料に基づいて授業を進める。参考文献は毎回の授業で紹介する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	濱崎・重富ともに, レスポンスシート (20%), プレゼンやディスカッションなどへの参加意欲・貢献度 (20%), グループ発表 (60%) を総合的に評価する		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	現在と将来の資源を有効に利用するためのしくみを学びましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回 (4月7日)	授業オリエンテーション (授業のねらい, 達成目標, 成績評価, グルーピングなど)		
第2回 (4月7日)	資源管理とは: 経済発展 (資源利用) と環境保全 (資源保護) のせめぎあい		
第3回 (4月14日)	エネルギー問題		
第4回 (4月14日)	希少金属資源		
第5回 (4月21日)	廃棄物		
第6回 (4月21日)	循環型社会		
第7回 (4月28日)	エコロジカルフットプリント		
第8回 (4月28日)	グループ発表		

第9回（5月12日）	後半イントロダクション：'環境保全と資源保護に関する国際社会の動向と国際関係
第10回（5月12日）	資源の利用と保全の両立を模索する地域の取組 日本国内を事例に
第11回（5月19日）	資源管理の難しさを体感する貿易ゲーム
第12回（5月19日）	資源管理の難しさを体感する貿易ゲーム（振り返り）
第13回（5月26日）	水資源の管理における資源の利用と保全 メコン河流域開発を事例に
第14回（5月26日）	水資源の管理における資源の利用と保全 トルコの農業用水管理を事例に
第15回（6月2日）	グループ発表
第16回（6月2日）	授業総括

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587049501	科目番号 / Subject code	05870495
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	環境と社会の共生 (廃棄物の管理と処理) / Management of Waste		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	竹下 哲史 / Takeshita Satoshi, 濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	竹下 哲史 / Takeshita Satoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	竹下 哲史 / Takeshita Satoshi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	juniper nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	産学官連携戦略本部 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2227		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで問い合わせ		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	廃棄物の処理に関する法律等を理解するとともに, 実際に廃棄物の分別を体験し, 廃棄物の管理と 処理に関する知識と理解を深める.		
授業到達目標/Goal	日本の廃棄物処理のデータ分析と, 学内の「ごみ」の実態調査・分析から, 社会に必要な廃棄物の 管理と処理について考察する力を身につけることができる.		
授業方法 (学習指導法) /Method	居住地域のごみの分別方法, 日本の廃棄物処理, 学内における「ごみ」の実態調査, 分析から現状 の問題点を抽出し, 解決方法を提案する.		
授業内容/Class outline/Con	授業計画にある通り, 座学は最初の2コマのみで, 以降は, 居住地のごみの分別方法, 日本の廃棄物 処理に関する統計データ, さらに大学内のごみ分別状況を調査・分析する. そこから, それぞれが 抱える課題を抽出し, その解決のための手法を議論する.		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	シラバスの内容に沿った事前学習, および各調査・分析毎に簡単なレポート作成し提出する事後学 習があります.		
キーワード/Key word	廃棄物 ごみの分別 ごみ処理の方法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない. 資料は適宜提示する.		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	毎回の授業への積極的な参加30%, レポート70%で評価し, 60%以上を合格とする.		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます. 授業における合理的配慮等のサポートに ついては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下 さい. アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	自分が住んでいる自治体で定められているごみの分別方法を正しく理解しておくこと. グループ活動を中心とした実態調査, データ分析, 課題抽出が主体となるので, 欠席の影響は, 次 の講義, さらには個人だけではなくグループにも及ぶことを念頭に入れておいてください.		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ごみの話, 関連する法制度についての概要説明		
第2回	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) の概要説明		
第3回	居住地域のごみ分別方法について調査する		
第4回	居住地域のごみ分別方法の調査結果を分析する		
第5回	居住地域のごみ分別方法と他地域のごみ分別方法を比較検討し, 「ごみを分別すること」について 考察する		
第6回	環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を把握する ???		
第7回	環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を把握する ???		
第8回	環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を分析する		

第9回	日本の廃棄物処理の現状評価から問題点を抽出する
第10回	長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う？
第11回	長崎大学における廃棄物の分別・処理方法について理解する
第12回	長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う？
第13回	長崎大学における「ごみ」の実態調査結果の分析を行い、現状を評価する
第14回	長崎大学における「ごみ」の現状評価から問題点を抽出する
第15回	「ごみ」に関して長崎大学がかかえる問題点を解決するための方策を検討し、提案する。